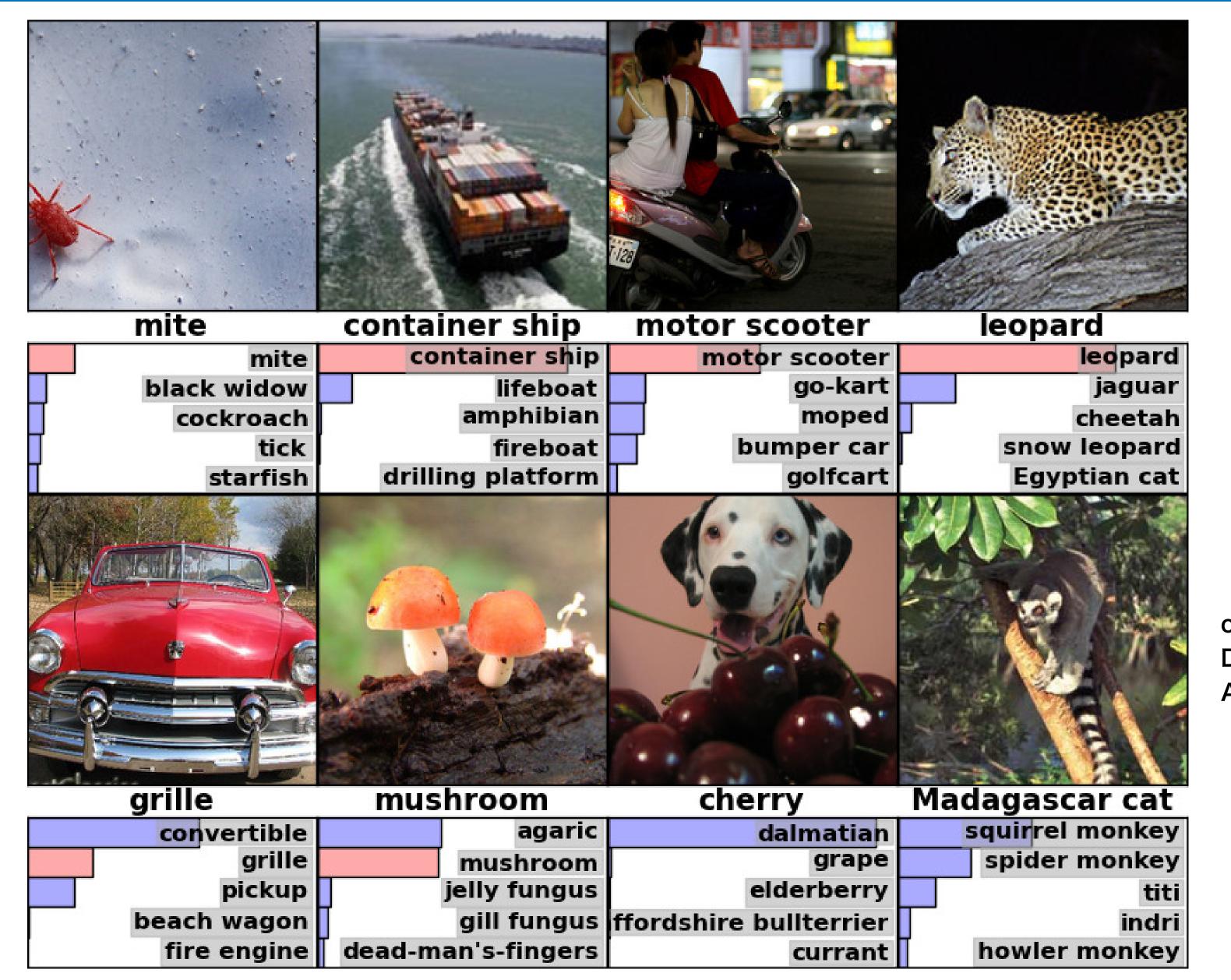
研究室ローテーション第6回

担当:和田山正・中井彩乃

本講義の内容

• 畳み込みニューラルネットワーク

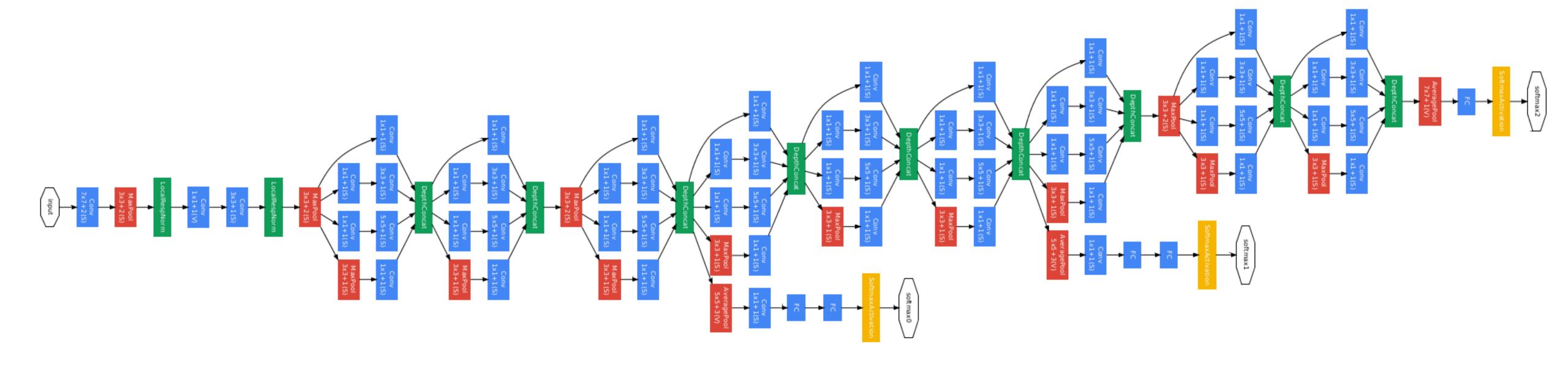
lmageNetデータ例とTOP5出力



cited from: `ImageNet Classification with Deep Convolutional Neural Networks", Alex Krizhevsky et al.

https://www.nvidia.cn/content/tesla/ pdf/machine-learning/imagenetclassification-with-deep-convolutionalnn.pdf

GoogleNet



- Googleが開発した深層ニューラルネットワークの一種
- 畳み込みニューラルネットワーク
- ・ILSVRC2014トップ

MNIST数字認識

MNISTデータセット

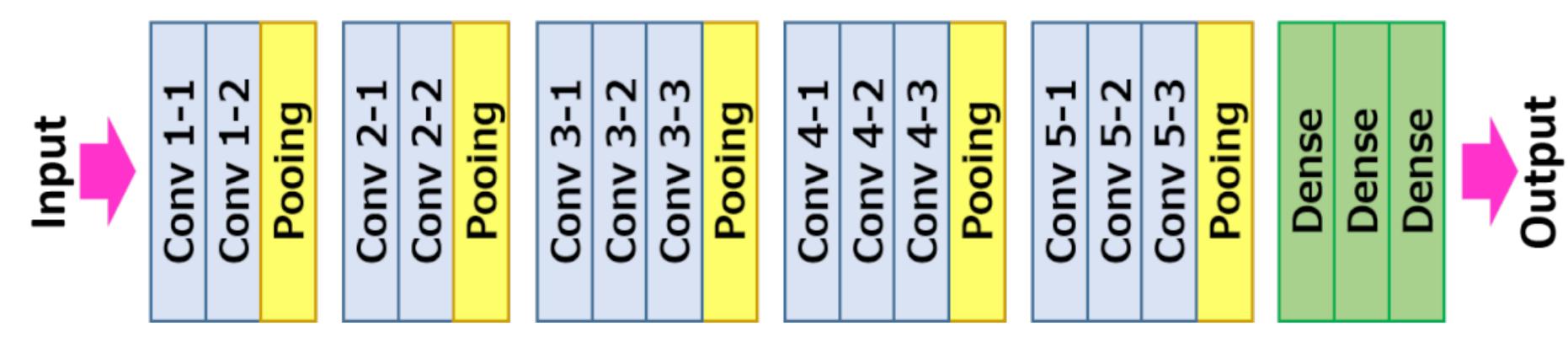
```
5041921314
3536172869
4091124327
3869056076
187939853
3074980941
 460456700
8026783904
```

- 0-9の手書き数字のデータセット
- ・28 x 28ピクセル (深さ8bit, モノクロ)
- ・訓練データ6万枚/テストデータ1万枚
- パターン認識アルゴリズムのテストにしば しば利用される (パターン認識の"Hello World" と呼ばれている)

畳み込みニューラル

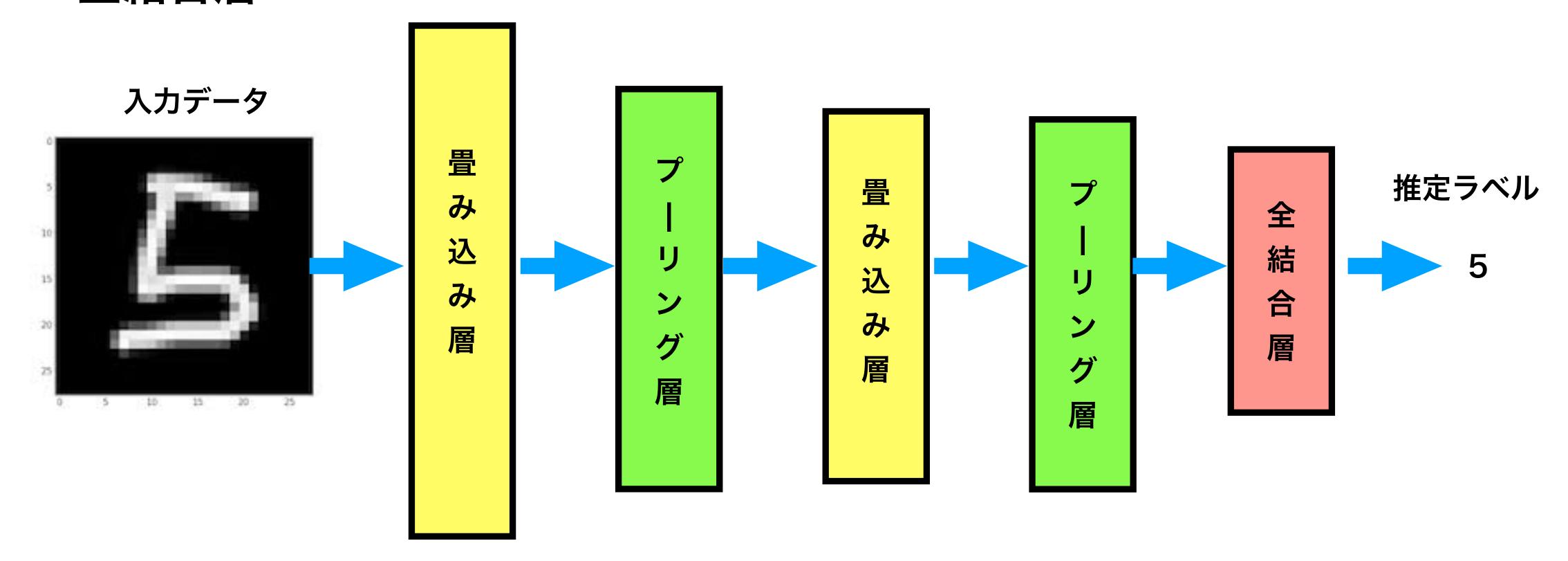
ネットワーク

VGG-16



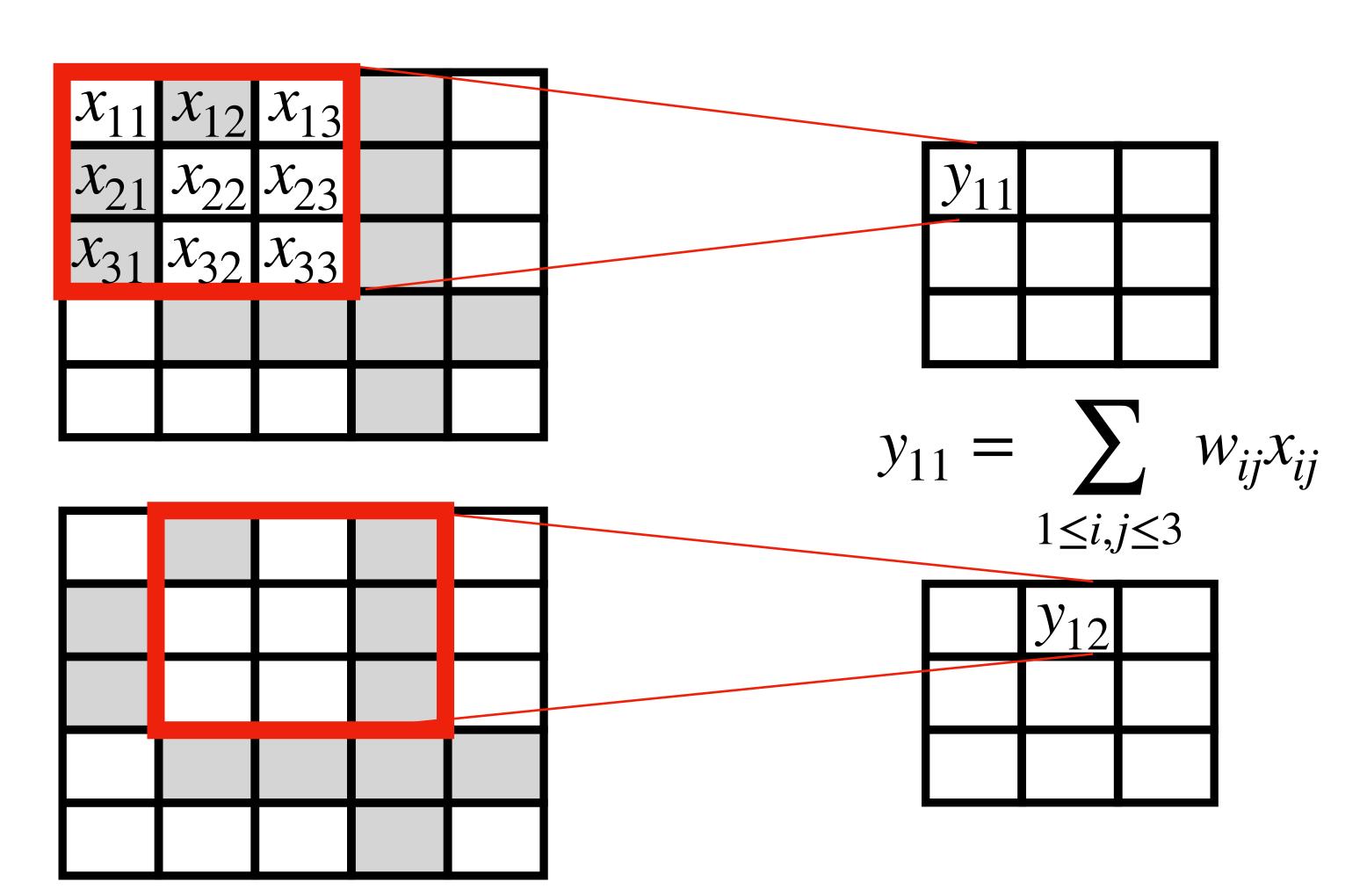
畳み込みニューラルネットワーク

- 2次元畳み込み演算に基づく層 = 畳み込み層(学習パラメータを含む)
- 2次元プーリング演算に基づく層 = プーリング層
- 全結合層



置み込み層(1)

窓内のデータに学習可能パラメータを乗じて和を取る



量み込み層(2)

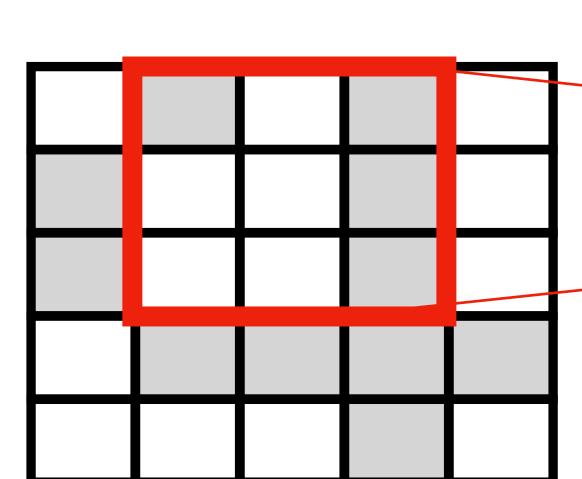
- $\mathbf{e}_{w_{ij}}$ は学習パラメータ(畳み込みカーネルと呼ばれることもある)であり、これを学習することで画像認識に適切な $\mathbf{2}$ 次元フィルタが学習される(特徴学習・表現学習)
- 画像の局所的性質を抽出している
- 上の説明は少し簡単化しており、本当は複数枚のチャネルから複数枚 チャネルを生成する

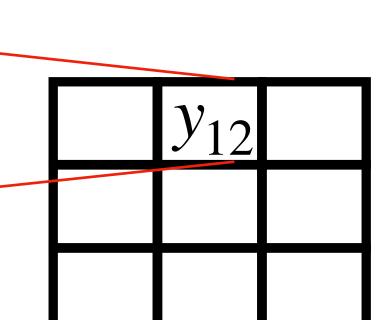
プーリング層

情報を縮約し、層のサイズを縮小させる

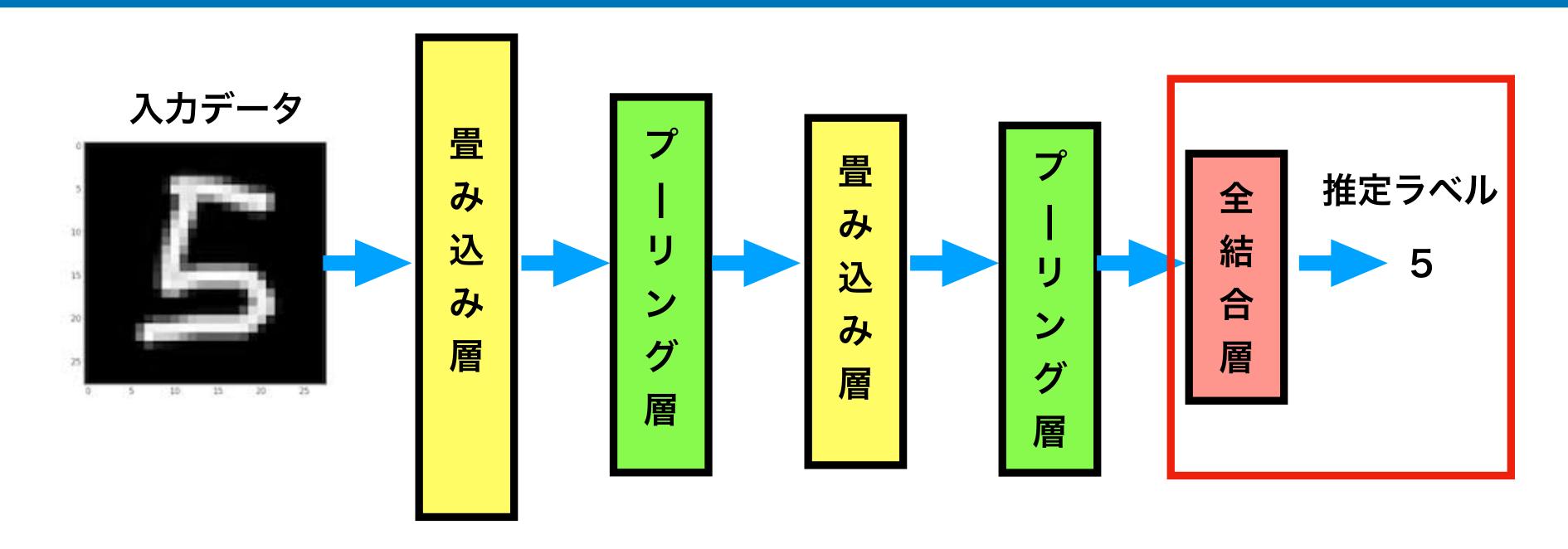
x_{11}	x_{12}	x_{13}	
x_{21}	x_{22}	x_{23}	
x_{31}	x_{32}	x_{33}	

	<i>y</i> ₁₁					
$y_{11} = \max_{1 \le i, j \le 3} x_{ij}$						



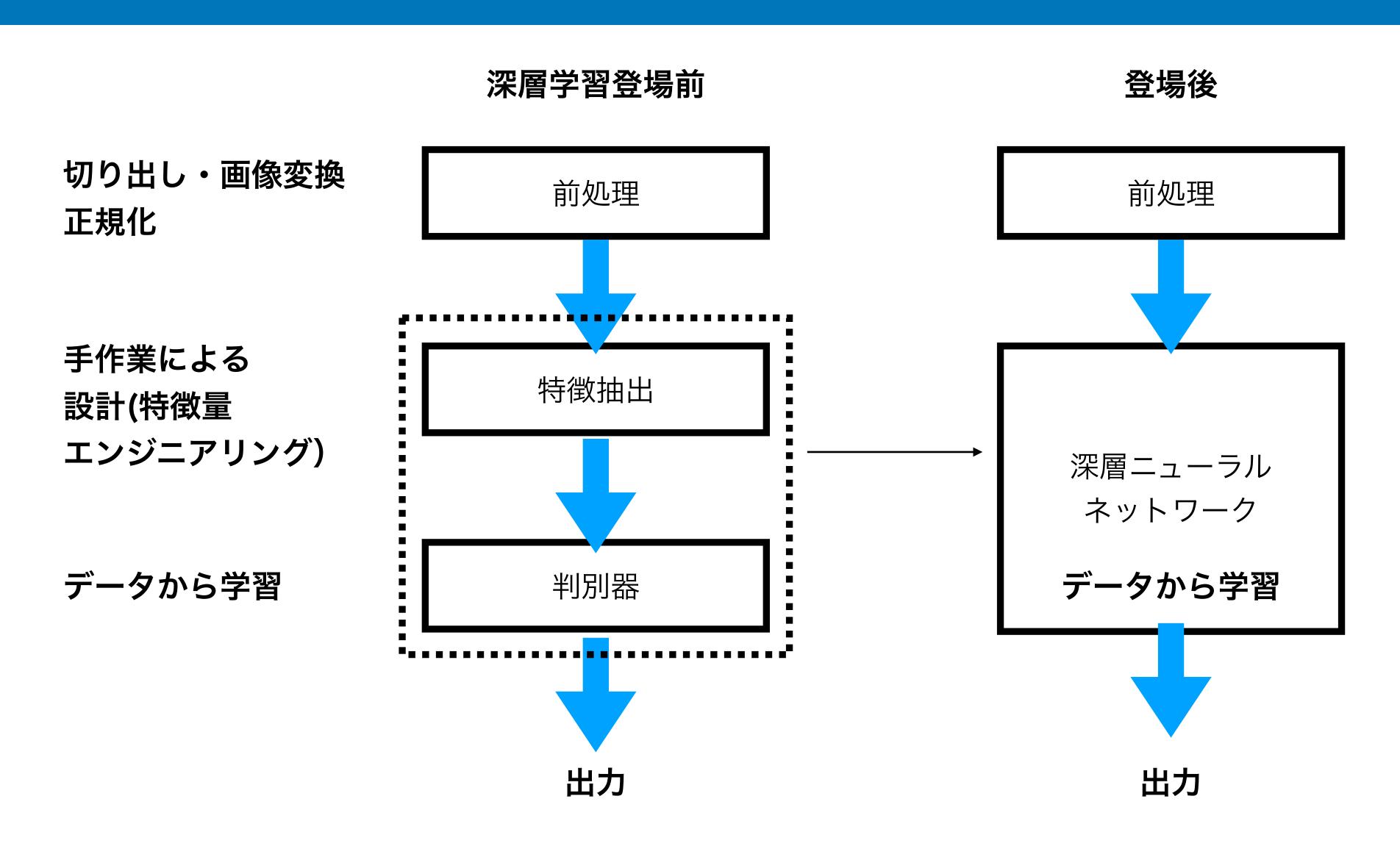


畳み込みニューラルネットワークの構造



- ・全結合層はf(Wx + b)型の通常のNN
- 最終層はソフトマックス層
- 現在においても優れた画像クラス判別のアルゴリズムは 畳み込みNN構造

パターン認識構成のためのアプローチ



(過去)特徴量エンジニアリング→(現在) DNNによる表現学習

PyTorchで畳み込みNN

```
入力チャネル数
class Net(nn.Module):
   def ___init___(self):
    super(Net, self).___init___() 出力チャネル数
    カーネルサイズ
        self.conv1 = nn.Conv2d(1, 2, 3) # 28x28x1 -> 26x26x2
        self.conv2 = nn.Conv2d(2, 3, 3) # 26x26x3 -> 24x24x3
        self.pool = nn.MaxPool2d(2, 2) # 24x24x3 \rightarrow 12x12x3
        self.fc1 = nn.Linear(12 * 12 * 3, 16)
self.fc2 = nn.Linear(16, 10) 全結合層
    def forward(self, x):
        x = F.relu(self.conv1(x)) # 第1畳み込み層
        x = F.relu(self.conv2(x)) # 第2畳み込み層
        x = self.pool(x) # プーリング層
        x = x.view(-1, 12 * 12 * 3)
        x = F.relu(self.fc1(x)) #全結合層 1
        x = self.fc2(x) # 全結合層 2
        return F.log_softmax(x, dim=1)
```

本講義のまとめ

• 畳み込みニューラルネットワーク